

回覧

令和7(2025)年12月23日 燕市立小池小学校



学校だより

月 花 星

HP も随時
更新中時は金なり～冬休みの時間を有効に～

校長 亀山 正

今月の全校朝会では、「時は金なり」ということわざを例に出して、時間を大切にしてほしいことを話しました。授業時間を例にして、どれくらいの時間が損をするのか、得をするのかをプレゼンテーションで説明しました。

授業に1分遅れると、1日5時間授業で5分、損をする。



1週間の授業日は5日なので、5分×5日=25分、損をする。



1年間は約40週なので、25分×40週=1000分、損をする。

・・・1時間の授業は45分なので、わり算をしてみます。

$$1000 \text{ 分} \div 45 \text{ 分} = 22 \text{ 時間と } 10 \text{ 分}$$

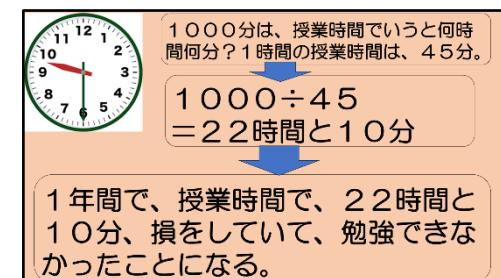
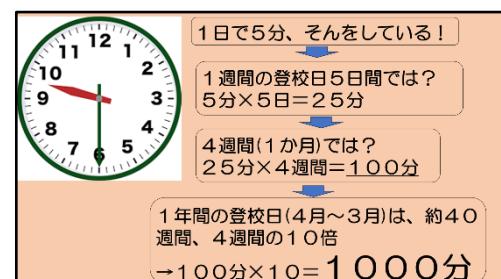
つまり、授業1時間に毎回1分遅れただけで、1年間で、45分の授業を22回分と10分損をするということになります。逆に、授業開始よりも1分間早く始めて、それを1年間続けると、授業22回分と10分得をするということになります。

「塵も積もれば山となる」という言葉のもありますが、授業の毎時間の1分間が積もっていき、それが得をしてプラスになってほしいです。でも、損をしてマイナスになるのか。どちらを選ぶのかは、子どもたち自身です。学校では、職員が子どもたちの時間が守れるように支援してきましたが、冬休みは、保護者の皆さんにお願いすることになります。

明日からの冬休みでは、子どもたちは、学校で過ごす時のように「時間をきちんと守らなければならない」という気持ちが少し薄くなり、気楽に過ごす時間が増えることは自然なことでしょう。しかし、こんな時こそ、子どもたちには、「1分でも無駄にせずに、○○してよかったです！」という気持ちになる場面が多くあるとよいなあと思います。時間を有効に使って、家族での団らんも大事にする、学習やお手伝いでも頑張る・・・という充実した冬休みになるよう、お子さんのご支援をよろしくお願いいたします。



令和7年も、あと数日で終わろうとしています。熱中症が心配されながら始まった2学期は、長引いた残暑を過ぎると、短い秋から冬へとあっという間でした。いろいろな活動の中で、保護者の皆様、地域の皆様からご理解・ご協力をいただき、無事に2学期を終えることができました。大変ありがとうございました。新しい年も、引き続き変わらぬご支援をいただきますよう、お願いいたします。それでは、よいお年をお迎えください。



【子どもたちは、頑張っています！（敬称略）】

- ◇第38回燕市内小学生ミニバスケットボール親善大会 優秀選手賞 6年 神保 春輝
- ◇令和7年度明るい選挙啓発ポスター 入選 6年 高橋 紗杜
- ◇税に関する絵はがきコンクール（6年のみ） 銀賞 栗山日奈子 銅賞 山田 琉奈
けんた君賞 川村 夏菜 佐藤 美緒 小池 真弥 牧野舞陽菜 佐々木 晟
- ◇第61回新潟県中越教育美術展 特選 1年 古室 琉音
2年 大岩 縁 竹内 小春 松尾 芽依
3年 金山 蓮音 熊谷 賢人 高橋 悠吾
- ◇第55回 新潟県ジュニア美術展覧会 奨励賞 2年 海津 琴音 4年 神保 謙心
- ◇第14回燕ジュニア検定 教育長特別賞 燕ジュニア博士 6年 橋口 友哉

【ありがとうございます！】

1. プール跡駐車場利用と校門前の駐車について

小池小学校児童の登下校は、徒歩を基本としていますが、特別な事情等での自家用車による送迎を可としています。それに関して、今まで、学校だよりやテトルメールで、校門前の駐車禁止とプール跡駐車場のご利用をお願いしてきました。保護者の皆様のご理解・ご協力により、校門前道路に駐車される車、学校職員駐車場入り口（校門隣りの通路）を通る車がほぼなくなりました。小池小児童及び小池中生徒の安全確保が、ほぼできています。保護者の皆さんのご理解・ご協力のおかげです。大変、ありがとうございます。引き続き、よろしくお願ひします。

2. 後期学校評価アンケートについて

お忙しい中、月日締め切りの、後期学校評価アンケートにご回答いただき、さまざまご意見をいただきました。ありがとうございました。アンケート結果は、1月以降の学校だよりで、お知らせいたします。今後とも、学校、保護者及び地域の皆さんで、子どもたちと一緒に育ければと思います。

【要注意！冬休みをトラブルなく過ごすためのSNSについてのお願い】

学校では、情報モラルの授業や生活指導を行っています。しかし、冬休みに、SNS等を利用する場所は、学校外ですので、お子さんをネットトラブルから守るのは、ご家庭の責任となります。

特に、LINEを使っているお子さんには、目配りをする必要があります。LINEは友達同士で楽しくリアルタイムでコミュニケーションできる半面、いじめやトラブルにつながりやすいSNSでもあります。その理由のひとつは、主に文章でのやり取りになるためです。子ども同士のやり取りでは、「はあ？」「むかつく！」など、強い言葉をそのまま書き込んでしまいがちです。面と向かって話していれば、冗談だと理解できるような場合もありますが、文字で見ると攻撃的に感じる時もあります。文章だけで気持ちを伝えるのは、大人でも難しいことです。もし、トラブルを避けるとするなら、「LINEの練習」をする方法もあります（決してLINEをすすめているわけではありません）。保護者の方とLINEのやり取りをしてみて、言葉選びや伝え方に問題がないかチェックしてみるのです。他にも、「スマホにはまり、朝起きられない、何事にもやる気が起きない」「LINEで返事が少し遅れたことをきっかけに、人間関係が悪化していく」等は、よく聞く事例です。

小学生は未成年ですので、保護者の方の見守りの中で使うことが基本です。**スマホ等を使用するお子さんご家庭では、必ず、どんなやり取りをしているのか、画面を見て、毎回ご確認ください。**ご理解・ご協力をよろしくお願ひします。